

9 月度議員懇談会



コロナ禍における県内の経済情勢について懇談



9 月度議員懇談会を 9 月 1 日午前 11 時から福井商工会議所ビルで開催し、66 名が出席した。

開会にあたり伊東会頭は、8 月 20 日に東京で開催された北陸新幹線建設促進同盟会総会に出席した時の様子に触れ「東京に行く際に北陸新幹線に乗った時も、福井に帰る際に羽田空港に行った時も人の少なさに驚かされた。新型コロナウイルスの影響で東京と地方の交流が遮断されているのを肌で感じた」と率直な感想を述べた。

その上で「新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか判断は難しいが、我々とし

ては感染リスクを見極めつつ経済を回していかなければならない重要な局面に差し掛かっている」と語った。

続いて、「最近の金融経済情勢」をテーマに、日本銀行金沢支店長の武田吉孝氏より卓話があった。

最初に、経済指標を用いた景気動向について説明が行われ、武田氏は「新型コロナウイルスの影響を強く受けたのは北海道・北陸・九州の 3 エリアで、製造業が多い北陸は輸出の落ち込みの影響が最も大きかった」と述べた。

一方で企業の設備投資については「減少したとはいえ落ち込み幅は小さく、設備の維持更新投資や省力化・効率化投資は引き続き行われている」との分析結果を示した。

続いて、様々なアンケート結果から福井県の特徴を分析。武田氏は「持ち家比率が高く、敷地の延べ面積も広い」「子育てがしやすい、教育水準も高い」といった要素が福井県の住みよさ・暮らしやすさにつながっている」と解説。加えて「有効求人倍率が全国トップ」「高齢者の就業割合が全国上位」「共働き率が高い」「世帯当たりの貯蓄率が全国 3 位」といった要素が福井県の裕福な家庭環境を形成している」と説明した。



北陸三県の経済情勢について
データをもとに解説する日本銀行金沢支店の武田支店長

その上で最後に「福井県は転入も転出も少ない土地柄だが、長期的には必ず生産年齢人口が減少する。人口対策がこれからは非常に重要になる」と締めくくった。

引き続き、地元サッカーチーム「福井ユナイテッド」の取組みについて服部ゼネラルマネージャーから紹介があり、スポンサー企業の募集について要請が行われた。

【議員異動】（敬称略）

興和江守（株）

（旧）市川 哲夫（社長）

（新）永島 孝彦（社長）

事業開催結果

8.19 事業計画・市場分析セミナー

担当/金融・税務相談課



事業計画の作成と市場分析の手法を学ぶセミナーを開催。補助金・助成金・給付金の違いから計画作成までのポイントを学んだ後、実際に補助金の申請書類を利用しながら、経営方針や今後の事業プラン等の作成を行った。なお、11月6日にも同様のセミナーを開催する。

受講者/35名

会場/福井商工会議所ビル
コンベンションホール

8.4~ 原子力関連業務従事者研修 「機械組立技能基礎」

担当/まちづくり・産業振興課



機械設備保守の知識や技能習得を目的に工作機械製造、機械メンテナンスに従事する技術者が受講。工作機械に使われるベルトチェーン等の実機を用いて、機械装置を安全な状態に保つための技能等を学んだ。なお、この研修は今年12月にも同様の内容で開催予定。

受講者/10名

会場/福井商工会議所ビル 会議室D

8.20 自民党政務調査会 意見交換会



自民党福井県連政務調査会との意見交換会が開催され、商工会議所連合会の小藤副会頭が新型コロナ禍における地域経済の現状・課題と商工会議所の企業支援実績を説明。これを受け福井商工会議所の小森中小企業活性化委員長が中小企業対策の拡充について要望した。

会場/福井パレスホテル 羽衣の間

8.5 県都にぎわい創生協議会 エリアマネジメント部会

担当/まちづくり・産業振興課



先月発足した標記協議会の「実働部隊、となる部会が始動。まちづくりのプレイヤーとなる福井駅前で事業を行う経営者や再開発事業者、地権者の他、県副知事、市副市長をメンバーとして、部会の進め方や賑わいを創出するためのイベントのあり方等について協議した。

参加者/17名

会場/福井商工会議所ビル 会議室AB